

## 年度末を迎えて

校長 芳崎 正道

まもなく3月。年度のまとめの時期となりました。寒さに耐えながら、技術科室前の渡り廊下横にたたずむ椿に、いくつかつぼみが見られます。今か今かと春の訪れを待ちわびているようです。そんな春を待つ景色を眺めながら、ふと思い出した詩を紹介します。



椿（技術科室前）

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。  
雲はどんな形をしていましたか。風はどんなにおいがしましたか。  
あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。  
「ありがとう」という言葉を、今日、あなたは口にしましたか。（略）  
「うつくしい」と、あなたがためらわず言えるものは何ですか。  
好きな花を七つ、あげられますか。略）  
いまあなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聴こえますか。  
沈黙はどんな音がしますか。じっと目をつぶる。すると、何が見えてきますか。  
問いと答えと、今あなたにとって必要なのはどちらですか。  
これだけはしないと、心に決めていることがありますか。  
あなたにとって、あるいはあなたの知らない人びと、あなたを知らない人びとにとって、  
幸福って何だと思えますか。（略） 「最初の質問」（作：長田 弘さん）より一部抜粋

素敵で、綺麗な詩と改めて感じるとともに、心が洗われる思いがしました。

コロナ禍における日常に追われていると、大切な何かを見失ったり、意識から抜け落ちたりしていることに気付くことがあります。空がきれいだな、とか、風が心地よい、とか、木々の季節の変化にも気づかない、など。

この詩にふれて、そんな自分の状態に気づくとともに、自分を振り返るきっかけになりました。日本語には、このように美しい響きを持つ語句がたくさんある、と再認識もしました。言葉には魂がこもっている気がします。一年のまとめにあたる3月のこの時期に、改めて日常を振り返るきっかけになればと思い、この詩を紹介しました。

3月15日（火）には、第74回卒業証書授与式が行われます。ぜひ3年生の晴れの門出を祝福していただければと思います。卒業生一人ひとりが、本校を巣立ち、それぞれの夢と希望に向かって力強く進んで行って欲しいと心から願っております。

三橋中学校では、一年間のまとめをし、次年度に向け、日々取り組んでいるところです。今年度、保護者の皆様、地域の皆様をはじめとする関係各位の方々から賜りました多くの御支援・御協力に心より御礼申し上げます。お蔭様をもちまして、三橋中学校の子どもたちは、日々、着実に成長しております。一年間、本当にありがとうございました。